

血液像ヨリ觀タル肺結核ニ就テ

金澤市若松療養所

倉 金 五 郎

(本論ノ要旨ハ第十二回日本結核病學會總會ニテ演說セルモノナリ)。

目 次

緒 論

研究方法

實驗成績

- 第一節 赤血球數ノ動搖ト病型ニ就テ
- 第二節 血色素數ノ動搖ト病型ニ就テ
- 第三節 血色素係數ト病型ニ就テ
- 第四節 白血球數ノ動搖ト病型ニ就テ
- 第五節 中性嗜好性多核白血球百分率ト病型ニ就テ
- 第六節 「エオジン」嗜好性白血球絕對數ト病型ニ就テ

第七節 「エオジン」嗜好性白血球百分率ト病型ニ就テ

第八節 鹽基嗜好性白血球數ト病型ニ就テ

第九節 鹽基嗜好性白血球百分率ト病型ニ就テ

第十節 大單核細胞及移行型數ト病型ニ就テ

第十一節 大單核及移行型百分率ト病型ニ就テ

第十二節 淋巴球絕對數ト病型ニ就テ

第十三節 淋巴球百分率ト病型ニ就テ

第十四節 核分葉數ト病型ニ就テ

綜合的考察及結論

文 獻

緒 論

肺結核症ニ關シ、ソノ血液像ヨリ何等カノ診斷上ノ根據、結核病理闡明上ノ手懸リ、豫後判定ノ標準ヲ求メントシテ今日迄爲サレタル研究ハ實ニ夥シイ數ニ上ルト云ハネバナラナイ。而モ此處ニモ甲論乙駁シテ甚ダシクソノ歸趨ニ迷ヘルガ如キ中ニ、既ニ幾年カヲ經テ、兎モ角モ一定ノ結論ガ下サレ、夫等ガ今日ノ吾等醫家ノ一般常識ヲ支配シテ居ルモノ、如クデアル。曰ク、重症結核デハ赤血球數及ビ血色素ノ著シイ減降ヲ認メルコトガアル。曰ク、白血球數ノ甚ダシイ増加ヲ認メル場合ニハ豫後不良デアル。曰ク、肺結核ノ多數ノモノニ於テ中性多核白血球百分率ノ増加、從ツテ淋巴球百分率ノ減少ヲ證明スル。淋巴球ノ増加ハ疾病ノ回復ヲ意味スル。曰ク、「エオジン」細胞ノ増加モ亦疾病經過ノ良好ヲ一面ニ於テ語ルコトガ可能デアル。及ビ肺結核症ニ限ラレタ所見デナイコトハ前述ノ

種目同様デアルガ、核分葉數ノ明カナル左方移動ヲ證明シ得ル等々。併シ乍ラ、今日例ヘバー患者ヲ診シタル場合ニ、常ニ是等ノ結論ニ從ツテ、一定ノ豫後ヲト知シ、又ハ或病型ニ屬スルコトヲ診定シ得ルコトヲ云フニ、吾人ハソノ點甚ダシク躊躇セザルコトヲ得ナイ。サレバコソ、爾餘ノ諸血液反應ノ流行ヲ極メ、甚ダシク云ヘバ、寧ロ多數ノ場合ニ於テ直接病床ニ就テ血液像殆ンド採ルニ足ラザルガ如キ觀ヲ呈セル傾向ニ在リト云フモ敢テ過言ナキ次第デアル。果シテ斯クノ通りデアツテヨイモノデアラウカ。尤モ血液像ト爾餘血液諸反應トノ臨牀上ノ意義ハ決シテ之ヲ同一視ス可キデナイ。然リトスレバ尙更ソノ優劣取舍ニ就テ今一步ヲ論ズル必要ガナイデアラウカ。

抑々肺結核症ニ於ケル血液像ニ關シテ種々意見ノ相違スル所以ノモノハ、一ツハ或事象ガスル

場合ニハ存シ、斯ル場合ニハ絶對存セズト云フ 100% (又ハ多少夫以下デモ) ノ的確率ヲ以テ結論ヲ下シ得ベキモノヲ見出シ得ルニハ餘リニ種種事情ガ錯雜シテ居ルコトカラ起リ得ルモノデアリ、一ツハ検査ノ方法ソノモノニモ多大ノ誤差ガ検査種目ニ依リ多イカ寡イカ伴ヒ得ル危険性カラ由來スルモノト信ゼラレル。吾人ハ本論ニ於テ後者ノ吟味ニ關シテハ後日ノ研究ニ俟ツコト、シテ、同一方法ニ依ル検査成績ヲ對照例トヨク比較考察シテ、個々ノ例ヲ追フコトナシニ、先ヅ全部ノ症例ヲ通觀シテ綜合的觀察ヲ下

シ、結核症ガソノ大勢ニ於テ健康者ト如何ナル血液像ノ相違ヲ呈スルカタヲ究ムルノ方法ヲ探ツタ。斯クテ其中ニ於テ直接臨牀ニ採用シ得ベク、關係ノ充分ニ多大ナル測定種目ニ就テ更ニ誤差ノ吟味ニ專念シ、方法ノ改良ヲ志シテ能フ可クンバ益々ソノ利用範圍ヲ擴充ス可キデアルト信ズル。既往諸學者ノ業績ニ就テハ以下述ベントスル各節及ビ綜合的考察ノ條下ニ於テ之ガ整理ヲ試ムルデアラウ。余ハ以上ヲ以テ本研究ノ使命ヲ論ジ、徒ラニ一篇蛇足ヲ加フルモノニ非ザル旨ヲ明カニスル次第デアル。

研究方法

A、研究材料、1933 年 4 月ヨリ 1934 年 3 月ニカケ在所セル金澤市若松療養所收容患者ノ殆ンド全員ヲ以ツテソノ検査對象ニ當テタ。患者ノ種類ニ就テハ別表實驗成績ニ示セルガ如ク、多クハ中等重症以上ノモノニ屬スル。對照例ハ概ネ當所従業員健康者デアル。

B、血球數算定及ビ白血球種類ノ率算定、赤血球數及ビ白血球數ノ算定ハ專ラ Thoma-Zeiss ノ算定器ヲ使用シ、血色素量測定ハ Sahli ノ血色素計ニ依ツタ。又白血球種類ノ率算定ハ載物硝子塗沫標本法ニヨリ、同塗沫標本染色ハ May-Giemsa 液ヲ用ヒタ。實際ニ數ヘタ白血球個數ハ 200 個デアル、從來ノ血球數及血球種類ノ率算定ニハ可成リノ誤差ガ伴フモノデアツテ、之ヲ極力寡カラシメンニハ勿論特別ノ注意ト操作ノ熟練トヲ必要トスル。著者ハ從來指示セラレ

テ居ル限リノ注意ニ從ヒ、以上器具ノ使用ニ於テ不熟練、不注意ヨリスル誤ヲ可及的避ケン事ニ努メタ。

C、採血、耳朶ヨリノ採血ヲ早朝空腹時ニ於テ施行ス。

D、成績ノ處理、統計學的處理ニ依リ健康對照例トヨク比較吟味シ、先ヅ一般肺結核症ニ關スル對照トノ差異ヲ明カニシ、次デ同ジク肺結核症ニ關スルモ、病竈ノ大小(ツルバン氏分類ニ依ル)、滲出、増殖ノ型的差異(此分類ハ完全ニ行ハレタルモノトハ云ヘナイガ、兎角臨牀的ニ滲出性所見ガ存セリヤ、否ヤノ區別ヲ行ツタモノデアル)、轉歸トノ關係ヲ究メタ。是等臨牀的事項ハ著者及ビ同僚上坂ノ 2 名ニ依リテ自ラ經驗セラレタル處ニ基ク。

實驗成績

被檢症例疾病狀態ノ簡單ナル紹介竝ニソノ血液像ニ關スル成績ハ一括シテ末篇ノ終リニ掲ゲ、之ガ説明ニ便ナランガ爲ニ以下各節ニ別ツテソノ内容ヲ檢討スル。

第一節 赤血球數ノ動搖ト

病型ニ就テ

著者ノ健康對照例ニ於テ得タル赤血球數ハ、男子 477 萬、女子 445 萬、之ヲ先進諸家ノ成績ニ

徴スルニ、別表ノ如ク男女共僅カニ低イ値ヲ呈シテ居ル。今之ガ土地柄ニヨルモノカ、被檢員ノ體質ニ基ヅキシモノナルカ等ニ就テハ詳細ヲ避ケル。兎角男女ニ於テ明カナル差異ヲ示スコトニ變リハナイ。實驗ハ同一器具ヲ以テ終始行ハレ、前後ノ比較ニハ何等ノ影響ヲ及ボサヌ。赤血球數ハ男女ニ於テ差異アルガ故ニ、今之ヲ肺結核患者ノ夫ト比較セントスルニ當リ、男女

別ニ考察スルコトが最も誤リヲ寡クスル。ソノ結果ハ男女共健康者ト結核患者ニ於テ其平均數ニ差異アルヲ認メナイ。但シ變差係數ニ於テ、患者例ハ對照例ヨリモ明カニ大デアル。而モ患者ニ於テ血球數ノ減少ガ存スルト共ニ、他方増加ヲ示スモノガ認メラレテ居ル。

第 1 表

檢 査 者	男 子	女 子
Oppenheimer ⁽¹⁾	500	450
Schilling ⁽²⁾	550	450
Schwermann ⁽³⁾	500	450
田 中 ⁽⁴⁾	550	450
吉 橋 ⁽⁵⁾	502	499
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	528 (550—500)	468 (510—400)

病型ニ就テ考察スレバ、男女共ニ病勢ノ進行スルニ連レ、然ラザルモノヨリモ明カニ貧血傾向ヲ呈スル。爾餘ノ點ニ就テハ餘リ明瞭ナルモノガナイ。肺結核症ニ於テ往々赤血球數ノ増加ヲ認ムルコトハ横井⁽⁷⁾モ亦之ヲ認メタ。ソノ原因ニ關シテモ古クカラ諸說アルヤウデアルガ(Bandelier Roepke⁽⁸⁾, Appelbaum⁽⁹⁾等)、横井ハ恐ラク外觀ノ増加ナルベシト唱ヘテ居ル。余モ亦之ニ贊スル。赤血球數ノ減少ニ就テハ、ソノ條件ノ如何ニ不關、兎角之ヲ認ムル點ニ於テ何人モ變リハナイ。Grawitz⁽¹⁰⁾, Naegeli⁽¹¹⁾ノ如キ高熱ヲ有セザル以外ニ一般ニ變化ナシト述ブレ共、此說ニハ服シ難イ。永井⁽¹²⁾ハ同一患者ニ就テ經過ヲ追ヒ疾病ノ進行スルト共ニ赤血球數ノ漸減スル事ヲ明カニシタ。

第 2 表 男子赤血球數ノ動搖ト病勢トノ關係

萬單位	健康男	患者男	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
240		1			1	1				1
270										
300		1			1		1			1
330		3	1	1	1	2	1		2	1
360		5		2	3	2	3	1	1	3
390		4			4	2	2	1		3
420		5	2	2	1	3	2		4	1
450	3	20	2	5	13	12	8	2	11	7
480	6	16	4	4	8	6	10	3	6	7
510	2	14	2	3	9	10	4	3	7	4
540		6		3	3	3	3	1	4	1
570		1			1		1		1	
600		1			1	1		1		
合 計	11	77	11	20	46	42	35	12	36	29
統 計 値	M=477.3±4.08	M=453.5±4.95	M=455.5±9.80	M=460.5±8.90	M=456.5±6.88	M=458.6±6.90	M=454.3±0.71	M=480.0±11.99	M=467.5±6.11	M=435.9±6.31
	σ=20.1±2.88	σ=64.3±3.49	σ=48.2±6.92	σ=59.0±6.25	σ=69.1±4.85	σ=66.1±4.85	σ=62.1±0.50	σ=61.2±8.41	σ=54.5±4.33	σ=50.4±4.56
	V=4.2±0.598	V=14.2±0.776	V=10.6±1.521	V=12.8±1.369	V=15.2±1.101	V=14.4±1.069	V=13.6±1.097	V=12.7±1.783	V=11.6±0.921	V=11.6±1.115

M = 平均値 ± 確率誤差
σ = 標準偏差 ± 確率誤差
V = 變差係數 ± 確率誤差

以下ノ表之ニ準ズ

第 3 表 女子赤血球數ノ動搖ト病勢トノ關係

萬單位	健康女	患者女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
320		2			2		2			2
350		2	2			2			2	
380	1	2			2		2			2
410	3	6	1	2	3	3	3	2	2	2
440	4	4	1		3	1	3		2	2
470	3	8	1	1	6	5	3	2	4	2
500	2	5	1	1	3	3	2	3	1	1
530		2	1	1		1	1	1	1	
合 計	13	31	7	5	19	15	16	8	12	11
統 計 値	M = 444.6 σ = 34.0 V = 7.6	M = 440.0 σ = 56.8 V = 12.8	M = 435.7 σ = 65.1 V = 14.9	M = 464.0 σ = 47.9 V = 10.3	M = 435.3 σ = 54.5 V = 12.5	M = 450.0 σ = 52.2 V = 11.6	M = 430.6 σ = 51.7 V = 12.0	M = 473.8 σ = 40.9 V = 8.6	M = 442.5 σ = 52.6 V = 11.8	M = 472.7 σ = 56.5 V = 13.6

第二節 血色素量ノ動搖ト

病型ニ就テ

「ザーリー」血色素計ニ依ル、正常血色素量ニ關シテ從來諸家ノ値ハ第 4 表ニ記載スル如クデア。著者ノ得タル平均値ハ男子 79.1、女子 71.1、諸家ノ成績トノ間ニ多少ノ懸隔ハアレド大差ナク、又男女ノ差異ハ明瞭ニ現ハレテ居ル。故ニ今之ヲ患者ノ場合ト比較スルニ當リ、男女各別ニ考察スルニ、患者ニ於テ男女何レモ血色素低下ヲ認メルモノガ屢ミデア。又病型ニ關シテハ男女共病竈ノ廣汎ナル程、病勢ノ次第ニ重症ニ傾ク程、且滲出型ハ増殖型ヨ

第 4 表

檢 査 者	男 子	女 子
Oppenheimer ⁽¹⁾	80—90	70—80
Schwermann ⁽³⁾	80—90	70—80
Löwi ⁽¹³⁾	80	70
田 中 ⁽⁴⁾	90—100	80—100
吉 橋 ⁽⁵⁾	88	82
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	82.3 (90—76)	72 (64—80)

リモ著シク血色素量ノ減退ヲ來タス傾向ヲ認メル。此所見ニ就テハ Grawitz⁽¹⁰⁾、Naegeli⁽¹¹⁾、横井⁽⁷⁾等皆然リデ、變更スベキ何等ノ異ツタ成績ヲ認メ得ナイ。

第 5 表 男子血色素量ノ動搖ト病勢トノ關係

血色素量	健康男	患者男	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
30		1			1	1				1
35										
40		1			1		1			1
45		3	1	1	1	2	1		1	2
50		1			1		1			1
55		5			5	1	4		1	4
60	1	3			3	1	2		1	2

65		13		4	9	5	8	1	7	5
70	2	15	4	3	8	7	8	3	5	7
75	1	11		3	8	6	5	1	7	3
80	2	9	1	2	6	7	2	4	4	1
85	3	13	3	7	3	10	3	2	9	2
90	2	1	1			1			1	
95										
100		1	1			1		1		
合 計	11	77	11	20	46	42	35	12	36	29
統 計 値	M=79.1 σ=9.05 V=11.4	M=71.0 σ=12.72 V=17.9	M=77.3 σ=13.90 V=18.0	M=71.0 σ=13.80 V=19.4	M=67.4 σ=11.70 V=18.2	M=73.8 σ=13.00 V=17.6	M=67.0 σ=10.60 V=15.8	M=79.7 σ=9.14 V=11.4	M=70.7 σ=10.30 V=14.6	M=64.7 σ=12.90 V=19.9

第 6 表 女子血色素量ノ動搖ト病勢トノ關係

血色素量	健康 女	患者 女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増 殖	滲 出	好 轉	停 止	進 行
40		1			1		1			1
45		1			1		1			1
50										
55		4			4		4			4
60		4	1		3	3	1	1	2	1
65	3	11	1	3	7	6	5	4	4	3
70	7	5	1	2	2	3	2	2	2	1
75	1	4	3		1	2	2	1	3	
80	1	1	1			1			1	
85	1									
合 計	13	31	7	5	19	15	16	8	12	11
統 計 値	M=71.17 σ=5.60 V=7.9	M=64.2 σ=8.58 V=13.4	M=71.4 σ=6.40 V=8.9	M=69.0 σ=2.45 V=3.6	M=60.8 σ=7.96 V=13.1	M=67.3 σ=6.14 V=9.11	M=61.2 σ=9.61 V=15.8	M=66.9 σ=4.26 V=6.09	M=68.8 σ=5.31 V=7.7	M=57.3 σ=7.20 V=12.6

第三節 血色素指數ト病型ニ就テ

血色素係數ノ算出ニハ曩キニ著者ノ得タル赤血球平均數及ビ血色素平均量、即チ男子 477 萬、同「ザーリー」79.1、女子 445 萬、同「ザーリー」71.2ヲ正常價トシテ用ヒ、之ニ依ツテ一般式ニ基ヅキ個々ノ係數ヲ得タ。

健康男子 1.03、女子 0.95、平均價ニ於テ著明

ノ差異ヲ認メナイ。併シ女子デハ折々血色素價ノ低下セルモノアルヲ知ル。

男女一ツニシテ患者例ト比較スルモ亦明カナ差異ヲ認メ難イ。患者間デハ滲出傾向強ク、進行シツ、アルモノニ於テ他ニ於ケルヨリ一般ニ低値ヲ示ス傾向ニ在ル。

第 7 表 色素指數ノ動搖ト病勢トノ關係

指 數	健康者		健康 男女	患者 男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
	男	女			I	II	III	増 殖	滲 出	好 轉	停 止	進 行
0.70		1	1	1			1		1			1
0.75				9	1	1	7	3	6	1	3	5
0.80		1	1	14	2	2	10	8	6	3	6	5
0.85		1	1	18	4	3	11	6	12	3	6	9
0.90		1	1	13	2	4	7	7	6	1	6	6
0.95	2	3	5	14	3	3	8	10	4	4	6	4
1.00	2	1	3	20	2	6	12	11	9	4	10	6
1.05	4	4	8	8	3	2	3	3	5	1	4	3
1.10	2		2	5		2	3	5		1	3	1
1.15		1	1	4		2	2	2	2	1	3	
1.20												
1.25				2	1		1	2		1	1	
合計	10	13	23	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M 1.03	M 0.013	M 0.008	M 0.022	M 0.017	M 0.012	M 0.009	M 0.011	M 0.010	M 0.014	M 0.010	M 0.011
	σ 0.059	σ 0.085	σ 0.015	σ 0.014	σ 0.007	σ 0.007	σ 0.006	σ 0.007	σ 0.007	σ 0.007	σ 0.007	σ 0.007
	V 5.7	V 12.2	V 10.2	V 10.2	V 13.1	V 11.5	V 10.7	V 13.8	V 12.5	V 12.0	V 9.7	V 12.7
	M 0.96	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096	M 0.096

第四節 白血球數ノ動搖ト

病型ニ就テ

正常白血球數ニ關シテ從來ノ方法ニ於テハ可成リノ動搖ヲ示スモノデアル。夫ハ生體內ニ於ケル動搖モアラウガ、又算定器ニ伴フ實驗誤差モ甚ダ大キイモノトセラレテ居ル。第 8 表ニ之ヲ示スガ如ク 4,000—10,000 ト云フ動搖ハ前述ノ如キ算定様式ニ依ツテ實際ニ起リ得ルノデアツテ、著者ノ得タル同一結果モ亦肯定セラル可キデアル。

白血球數ニ於テハ男女ノ別ハ設ケラレナイ。從ツテ男女之ヲ總括シテ患者例ト比較スルニ、108 例中 1 例ニ於テ寡少ナルモノヲ認メタル外、甚ダ屢々白血球增多症ヲ證明スル。

病型ニ關シテハ病竈ノ廣汎ナレバナル程、滲出型、進行性ノモノニ於テソノ傾向ガ著シク現ハレル。白血球増加ヲ證明シ得ナクトモノノ豫後ハ必ズシモ樂觀ヲ許シ得ザルモノガアルガ、結

第 8 表

檢 査 者	
Steffen ⁽¹⁴⁾	5.400(♂) 5.550(♀)
Blumenfeld ⁽¹⁵⁾	4.000—10.000
Arneth ⁽¹⁶⁾	5.000—10.000
Lampe u. Saupe ⁽¹⁷⁾	7.400(♂) 8.600(♀)
Schnorrenberg ⁽¹⁸⁾	4.000—10.000
Gloël ⁽¹⁹⁾	4.000—10.000
Eicke ⁽²⁰⁾	4.000—10.000
Schilling ⁽²⁾	6.000— 8.000
Gutzeit ⁽²¹⁾	4.000—10.000
田 中 ⁽⁴⁾	7.500—10.000
吉 橋 ⁽⁵⁾	6.950(♂) 7.004(♀)
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	7.956 7.004 (5.600—10.000)(4.400—10.000)

核以外ニ合併症ヲ有セズシテ著シキ白血球増加(15,000以上)ハ早晩死ノ轉歸ヲトルコトヲ經驗シタ。

Appelbaum⁽⁹⁾, Limbeck⁽²²⁾, 横井⁽⁷⁾, 大關、栗谷川⁽⁶⁾, Gloël⁽¹⁹⁾, Weichsel⁽²³⁾, Sleffen⁽¹⁴⁾, Dica-

tello⁽²⁴⁾等ノ所見ハ何レモ以上ノ成績ヲ支持スルモノデアル。之ニ反スル主張ヲナスモノニ Blumenfeld⁽⁴⁵⁾, Jorday⁽²⁵⁾ノ如キ極少數ノ研究者ヲ發見スルニ過ギナイ。是等ハ明カニ誤診ニ屬

スルモノト認メテ宜イ。永井⁽¹²⁾ハ白血球ノ多寡ハ疾病ノ診斷豫後ニ何等資スルニ足ラズト述ベテ居ルガ、單ニ之丈ノ結論デハ認識不足ヲ免レヌ。

第 9 表 白血球數ノ動搖ト病勢トノ關係

千單位	健康男女	患者男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
1		1			1	1			1	
2										
3										
4	3	4	1	1	2	4		1	2	
5	1	9	3	3	3	7	2	5	4	1
6	6	5	1	1	3	2	3		3	2
7	5	18	2	5	11	11	7	3	11	4
8	5	15	4	5	6	8	7	2	9	4
9	1	13		5	8	8	5	2	6	5
10	4	14	3	4	7	8	6	5	4	5
11		9	1	1	7	2	7	1	3	5
12		9	1		8	2	7		2	7
13		3	2		1	2	1	1	1	1
14		2			2	2			2	
15		1			1		1			1
16		1			1		1			1
17										
18		1			1		1			1
19										
20		1			1		1			1
21		1			1		1			1
22										
23		1			1		1			1
合 計	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M = 7.07 ± 0.240 σ = 1.81 ± 0.172 V = 25.6 ± 2.61	M = 9.20 ± 0.261 σ = 4.01 ± 0.184 V = 43.5 ± 2.30	M = 8.03 ± 0.414 σ = 2.63 ± 0.293 V = 32.7 ± 4.00	M = 7.84 ± 0.102 σ = 1.76 ± 0.072 V = 22.5 ± 2.22	M = 9.79 ± 0.324 σ = 3.92 ± 0.229 V = 40.0 ± 2.69	M = 7.82 ± 0.244 σ = 2.77 ± 0.172 V = 36.4 ± 2.40	M = 10.29 ± 0.316 σ = 3.83 ± 0.223 V = 37.2 ± 2.71	M = 7.80 ± 0.364 σ = 2.44 ± 0.257 V = 31.2 ± 3.60	M = 8.08 ± 0.248 σ = 2.57 ± 0.175 V = 31.8 ± 2.73	M = 11.97 ± 0.420 σ = 3.99 ± 0.297 V = 33.3 ± 2.64

第五節 中性嗜好性多核白血球

百分率ト病型ニ就テ

健康對照例平均百分率 58.8、之ヲ患者ノ 66.2ニ比較スル時ハ明カニ患者ニ於テ増加ヲ認メル。

病型ニ關シテハ病竈ノ廣キモノ、滲出型、進行性ノモノニ於テ率ノ増加ガ著シイ。

Arneth⁽¹⁶⁾, Naegeli⁽¹¹⁾, Schwermann⁽³⁾, Appelbaum⁽⁹⁾, Hermann⁽²⁶⁾ Blumenfeld⁽⁴⁵⁾, Gloel⁽⁴⁹⁾, Stegen⁽¹⁴⁾, 草間⁽²⁷⁾, 鈴木⁽²⁸⁾, 永井⁽¹²⁾等多少ノ意

第 10 表

檢 査 者	
Steffen ⁽¹⁴⁾	65—70
Weil ⁽²⁹⁾	70—75
Blumenfeld ⁽¹⁵⁾	70—75
Lampe u. Saupe ⁽¹⁷⁾	54.9(♂) 58.7(♀)
Schnorrenberg ⁽¹⁸⁾	60—70
Gloël ⁽¹⁹⁾	60—80
Naegeli ⁽¹¹⁾	65—70
Schilling ⁽²⁾	54—72
Gutzeit ⁽²¹⁾	65—70
吉 橋 ⁽⁵⁾	65.1(♂) 66.4(♀)
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	59.6(♂) 62.4(♀) (74—52) (78—52.5)

見ノ相違コソアレ、何レモ病期ノ進ムニ從ツテ
中性多核白血球百分率ノ増加ヲ認ムル點ニ於テ
變リハナイ。

第六節 「エオジン」嗜好白血球

絶對數ト病型ニ就テ

被檢例何レモ糞便ノ検査ヲ行ヒタルニ寄生蟲卵
ヲ有セルモノ 3 例アリ、乃チ之ヲ除外シタ。

百分率ト白血球總數トヨリ「エオジン」嗜好白血
球絶對數ヲ算出シテ、之ガ度數分布圖ヲ作製
シ、相互ニ比較考案ヲ試ムルニ、健康對照例ト
疾病者ニ於テ算術平均値ノ差異ハ認メ難イガ、
後者ニ於テ變化係數明瞭ニ大デアル。之ハ極少

第 11 表 中性嗜好白血球百分率ノ動搖ト病勢トノ關係

%	健康 男女	患者 男女	病 態 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増 殖	滲 出	好 轉	停 止	進 行
31	1									
37	2									
43	2	3	2	1		3		2	1	
49	5	9	3	2	4	7	2	4	5	
55	3	9	2	3	4	6	3	4	4	1
61	6	19	3	3	13	8	11	6	5	8
67	3	25	4	7	14	17	8	2	17	6
73	1	16	1	7	8	10	6	1	8	7
79	1	18	2	2	14	5	13	1	6	11
85		6	1		5	1	5		2	4
91		3			3		3			3
合 計	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M = 58.84	M = 66.16	M = 61.67	M = 65.08	M = 69.77	M = 63.84	M = 71.23	M = 57.70	M = 66.25	M = 73.30
	σ = 11.38	σ = 13.18	σ = 11.96	σ = 10.05	σ = 10.77	σ = 10.25	σ = 10.83	σ = 9.19	σ = 9.92	σ = 9.28
	V = 19.2	V = 19.9	V = 19.4	V = 15.4	V = 15.3	V = 16.0	V = 15.0	V = 15.9	V = 14.9	V = 12.6
	±1.561	±0.853	±1.880	±1.340	±0.888	±0.905	±1.174	±1.371	±0.954	±0.970
	±1.106	±0.608	±1.328	±0.947	±0.628	±0.639	±0.704	±0.969	±0.675	±0.690
	±1.192	±0.900	±1.327	±1.48	±0.92	±1.14	±1.01	±1.72	±1.03	±0.95

第 12 表 「エオジン」嗜好白血球絶對數ノ動搖ト病勢トノ關係

百單位	健康 男女	患者 男女	病 態 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増 殖	滲 出	好 轉	停 止	進 行
0	2	17	2	1	14	6	11	1	5	11
1.5	10	52	8	13	31	26	26	10	23	19
3.0	7	21	4	5	12	14	7	5	11	5
4.5	2	9	2	4	3	7	2	3	4	2
6.0	2	4	2	1	1	2	2	1	1	2

7.5										
9.0		1			1	1			1	
10.5										
12.0										
13.5		1			1		1			1
15.0										
16.5										
18.0		1			1		1		1	
合 計	23	106	18	24	64	56	50	20	46	40
統 計 値	M = 0.191 σ = 1.38 V = 50.3	M = 0.141 σ = 2.22 V = 76.1	M = 0.234 σ = 1.49 V = 52.8	M = 0.181 σ = 1.33 V = 52.0	M = 0.221 σ = 2.65 V = 92.0	M = 0.134 σ = 1.48 V = 54.6	M = 0.268 σ = 2.84 V = 97.7	M = 0.199 σ = 1.33 V = 50.0	M = 0.264 σ = 2.68 V = 92.4	M = 0.209 σ = 2.08 V = 75.1

數ノ例ニ於テ、ハアルガ、「エオジン」嗜好白血球絶對數ノ増加セルモノガ存シタコトニ依ルノデアル。

而シテ更ニ之ガ病型、病期ノ如何ヲ追及スルト、斯ノ如キモノハ「ツルバン」期ノ進ミタルモノニ於テ、主トシテ發見セラレタルノデアルガ、夫以上詳細ナルコトハ兎角例數ガ極少數デアリ、多クノ意味ヲナサヌヤウニ思ハレルノデ之ガ檢討ヲ止メニスル。

第七節 「エオジン」嗜好白血球

百分率ト病型ニ就テ

健康者ニ於ケル平均値 3.65 ハ之ヲ諸家ノ成績(第13表)ト比較シテ、略々近似セル結果デアル。健康者例ト患者例トノ間ニ於テハ何等ノ差異ヲ認メ得ナイ。

Krause⁽³⁰⁾ ハ結核ノ初期ニ於テ「エオジン」細胞

第 13 表

檢 査 者	
Steffen ⁽¹⁴⁾	1—2
Weil ⁽²⁹⁾	2.5
Blumenfeld ⁽¹⁵⁾	2—4
Lampe u. Saupe ⁽¹⁷⁾	3.8 3.2
Gloël ⁽¹⁹⁾	0.5—7.0
Eicke ⁽²⁰⁾	6
Schilling ⁽²⁾	2—4
Gutzeit ⁽²¹⁾	2—4
Naegeli ⁽¹¹⁾	2—4
吉 橋 ⁽⁵⁾	4.7 4.0
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	3.2 2.8 (7.0—1.0) (6.0—1.0)

ノ増加ヲ認メタガ、余等ノ例ハ何レモ多クハ病竈ノ稍々進捗セルモノナルヲ以テ強ヒテ比較スルコトガ出来ナイ。

Blumenfeld⁽¹⁵⁾, Naegeli⁽¹¹⁾, Kuthy u. Wolf

第 14 表 「エオジン」嗜好白血球百分率ノ動搖ト病勢トノ關係

%	健康男女	患者男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増 殖	滲 出	好 轉	停 止	進 行
0	2	17	2	1	14	6	11	1	5	11
3	16	72	12	18	42	37	35	16	30	26
6	3	11	3	3	5	9	2	2	9	
9	2	4	1	2	1	3	1	1		3
12		1			1	1			1	
15		1					1		1	

合 計	23	106	18	24	64	56	50	20	46	40
統	0.258 0.2187 7.38	0.153 0.1104 6.72	0.324 0.2290 8.50	0.270 0.1909 6.35	0.216 0.1531 8.40	0.206 0.1460 5.37	0.229 0.1621 12.05	0.259 0.1832 6.51	0.251 0.1852 5.46	0.208 0.1476 8.19
計	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
値	M = 3.65 σ = 2.159 V = 59.1	M = 3.25 σ = 2.406 V = 73.8	M = 3.50 σ = 2.060 V = 58.8	M = 3.75 σ = 1.985 V = 52.9	M = 3.00 σ = 2.598 V = 86.6	M = 3.64 σ = 2.317 V = 63.6	M = 2.82 σ = 2.431 V = 86.1	M = 3.45 σ = 1.737 V = 50.3	M = 3.72 σ = 2.226 V = 60.9	M = 2.62 σ = 1.980 V = 75.3

Eisner⁽⁸¹⁾, Appelbaum⁽⁹⁾ 等一般肺結核症ニ於テ中性多核白血球百分率ノ増加ト共ニ之ガ減少ヲ認メテ居ルガ、著者ノ成績ハソノ例數ヲ以テシテ必ズシモノノ事實ヲ確メシメナイ。一面斯クシテ個々ノ症例ニ於テ、單ナル一回ノ上記検査方法ニヨル増減ヲ以テシテ患者ノ豫後ヲ知スルコトハ、殆ンド不可解ナルコトヲ知ルコトガ出來ル。

第八節 鹽基嗜好性白血球數ト

病型ニ就テ

鹽基嗜好性白血球數ニ關シテハソノ健康體ニ於ケルト病體ニ於ケルト何等ノ差異ヲ見出スコトガ出來ナイ。

更ニ之ヲ病竈ノ大小、病型、轉歸別ニ考察スルモ亦相違ガナイノデ、尠クトモ是等ノ項目ニ關シ部分相關ノ存シナイコトガ明カデアル。

第 15 表 肥胖細胞絶對數ノ動搖ト病勢トノ關係

	健康男女	患者男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
0	12	58	10	10	38	30	28	9	25	24
30	5	16	3	4	9	9	7	4	8	4
60	4	14	3	3	8	8	6	5	3	6
90	2	7	1	4	2	3	4	2	3	2
120		6		3	3	4	2		4	2
150		1			1		1			1
180	1	6	1	1	4	3	3		5	1
合 計	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統	5.78 4.14 25.52	3.39 2.32 12.54	7.20 5.08 34.12	6.24 4.55 15.78	4.31 3.04 18.29	4.42 3.12 16.95	4.91 3.47 17.65	4.69 3.31 17.49	5.11 4.54 16.28	4.92 3.48 22.90
計	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
値	M = 31.25 σ = 42.8 V = 137.0	M = 36.1 σ = 51.2 V = 142.0	M = 30.0 σ = 45.8 V = 152.6	M = 48.0 σ = 46.8 V = 97.5	M = 33.2 σ = 52.1 V = 156.9	M = 35.7 σ = 50.0 V = 139.6	M = 35.7 σ = 52.6 V = 147.1	M = 30.0 σ = 31.4 V = 104.8	M = 40.0 σ = 53.1 V = 132.8	M = 30.7 σ = 46.7 V = 151.8

第九節 鹽基嗜好性白血球百分

率ト病型ニ就テ

鹽基嗜好性白血球百分率ニ關スル諸家ノ値ハ之ヲ第 16 表ニ掲グルガ如クデアツテ、著者ノ得タル成績ト大差ヲ見出スコトガナイ。

健康者例ト患者例トノ間ニモ何等差異ヲ認メシメナイ。

第 16 表

檢 査 者	
Steffen ⁽¹⁴⁾	0.25—0.5
Lampe u. Saupe ⁽¹⁷⁾	0.4(0—2.4)
Gloël ⁽¹⁹⁾	0.5—1.0
Schilling ⁽²⁾	0.5—1.0
Naegeli ⁽¹¹⁾	0.4(0—2.4)
Gutzeit ⁽²¹⁾	0.25—0.5
吉 橋 ⁽⁵⁾	0.6(♂) 0.5(♀)
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	0.8 0.75 (0—1.5) (0—1.5)

第 17 表 肥腫細胞百分率ノ動搖ト病勢トノ關係

%	健康男女	患者男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
0	12	58	10	10	38	30	28	9	25	24
0.5	4	24	3	7	14	12	12	5	9	10
1.0	5	16	4	4	8	8	8	6	5	5
1.5	1	8		4	4	5	3		7	1
2.0	1	2	1		1	2			2	
合 計	23	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M = 0.46 σ = 0.570 V = 121.7	M = 0.41 σ = 0.536 V = 130.7	M = 0.42 σ = 0.555 V = 132.1	M = 0.54 σ = 0.548 V = 101.4	M = 0.35 σ = 0.520 V = 148.5	M = 0.45 σ = 0.498 V = 110.6	M = 0.36 σ = 0.464 V = 128.8	M = 0.42 σ = 0.426 V = 99.1	M = 0.50 σ = 0.620 V = 124.0	M = 0.28 σ = 0.136 V = 44.0

病型ニ關シテハ増悪者ニ於テ停止者ヨリモ、
稍々明カニ減少ノ傾向ニアルモノ、如クデア
ルガ、甚ダシク著明ノモノト云フコトガ出来ナイ。

絶対數ニハスル差異ガ認メ難ク、即チ中性多核
白血球百分率ノ増加ニヨル部分的現象デアルト

スレバ、尙更ニ意義ノ尠カル可キコトヲ思フ。

第十節 大單核細胞及移行型數

ト病型ニ就テ

健康對照例ト疾病體トニ於テソノ統計値ニ相違
ガ存シナイ。宛モ結核患者ニ於テ甚ダシキ増加

第 18 表 大單核細胞絶対數ノ動搖ト病勢トノ關係

百單位	健康男女	患者男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
1	3	16	2	6	8	14	2	6	8	2
2	5	23	5	6	12	14	9	5	10	8
3	5	18	3	2	13	7	11	3	9	6
4	5	14	1	5	8	6	8		9	5
5	3	15	3	3	9	9	6	3	7	5
6	3	5	3	1	1	2	3	1	2	2
7		5	1		4	1	4	1		4
8		3		1	2	3		1	2	
9		5			5		5		1	4
10		2		1	1		2			2
11		1			1	1				1
12		1			1		1			1
合 計	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M = 3.37 σ = 1.54 V = 45.8	M = 4.11 σ = 2.45 V = 59.7	M = 3.61 σ = 1.86 V = 51.5	M = 3.22 σ = 2.25 V = 61.0	M = 4.25 σ = 2.72 V = 63.4	M = 3.26 σ = 2.22 V = 68.0	M = 4.66 σ = 2.66 V = 57.0	M = 3.05 σ = 2.05 V = 67.3	M = 3.47 σ = 1.89 V = 54.3	M = 5.00 σ = 2.95 V = 59.1

ヲ認メルヤウデアルガ、之ハ例數ノ多カリシコトニ職由スルモノ、ゴトクデアル。

併シ乍ラ、更ニ仔細ニ之ヲ病型、病期ニ分類シ、比較考察ヲ試ムル時ニ、其處ニ或一定ノ差異ガ窺ハレルノデアツテ、平均値ニ關シテ、増殖型ニ比シ滲出型デアルモノ程、亦轉歸ニ於テ好轉ヨリ停止、進行ト豫後ノ不良ナルモノ程、ソノ絶對數ノ多キコトガ知ラレル。

第十一節 大單核及移行型百分

率ト病型ニ就テ

著者ノ得タル大單核及移行型平均百分率ハ5.2%、之ヲ諸家ノ値(第19表)ニ比シテ特ニ差異ヲ認ムルコトガナイ。

患者例ニ於テ平均値ノ稍々減少ヲ認メルガ、病型、病勢等トノ關係ヲ知ルコトハ困難デアル。即チ之ニ依ツテ何等ノ豫後判定ニ關スル知識ヲ

第 19 表

檢 査 者	
Weil ⁽²⁹⁾	1.0
Lampe u. Saue ⁽¹⁷⁾	2.8—2.7
Gloel ⁽¹⁹⁾	3—10.0
Eicke ⁽²⁰⁾	12以下
Schilling ⁽²⁾	4—8
Naegeli ⁽¹¹⁾	6—8
Gutzeit ⁽²¹⁾	3—10
吉 橋 ⁽⁵⁾	4.5(♂) 4.3(♀)
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	5.3 (2—9) 3.6 (1—6)

モ與ヘラレルコトガナイ。

Kraus⁽³⁰⁾ハ重症患者ニ於テ比較的増加ヲ來スト述ベテ居ルガ、此ノ傾向ハ著者ノ結果ニ從ヘバ絶對數ニ於テ現ハレル。因ニ永井⁽¹²⁾ハ毫モ一定ノ關係ヲ認メ得ズトナシタ。

第 20 表 大單核百分率ノ動搖ト病勢トノ關係

%	健康男女	患者男女	病 態 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
1	1	4		2	2	4		3	1	
2	2	18	3	3	12	10	8	3	7	8
3	4	20	4	6	10	13	7	5	8	7
4		18	3	1	14	5	13	3	7	8
5	6	21	4	6	11	14	7	2	13	6
6	5	13	1	5	7	3	10	2	6	5
7	3	4	1	1	2	4		1	3	
8	2	4	1		3	1	3		1	3
9		5	1		4	3	2	1	2	2
10										
11	1									
12		1		1			1			1
合 計	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M = 5.51 ± 0.206	M = 4.36 ± 0.140	M = 4.44 ± 0.312	M = 4.36 ± 0.306	M = 4.35 ± 0.169	M = 41.0 ± 0.182	M = 4.66 ± 0.168	M = 3.70 ± 0.320	M = 4.43 ± 0.181	M = 4.57 ± 0.243
	σ = 2.24 ± 0.308	σ = 2.14 ± 0.096	σ = 1.98 ± 0.233	σ = 2.29 ± 0.217	σ = 2.04 ± 0.119	σ = 2.09 ± 0.131	σ = 2.10 ± 0.138	σ = 2.14 ± 0.226	σ = 1.89 ± 0.128	σ = 2.31 ± 0.172
	V = 42.9 ± 1	V = 49.0 ± 2.60	V = 44.6 ± 1	V = 50.4 ± 5.86	V = 47.1 ± 3.30	V = 50.2 ± 3.84	V = 45.0 ± 3.52	V = 58.0 ± 8.17	V = 43.6 ± 3.00	V = 50.4 ± 1

第十二節 淋巴球數ト病型ニ就テ

淋巴球絶對數ニ關シテハ男女ニ於テ差異ヲ認メズ、患者トノ間ニモ何等ノ懸隔ガ存シナイ。

(第21表参照)、唯併シ乍ラ獨リ病勢トノ關係ニ於テ好轉者ハ停止若シクハ進行シテ居ルモノヨリモ、ソノ數ガ多イ傾向ヲ認メシメル。好轉

者ノ淋巴球絶對數ト健康對照例ノ夫トノ間ニハ 數モ亦元ノ健康狀態ニ近付クコトヲ示スモノデ
差異ガナイノデ、之ハ病勢ノ好轉ト共ニ淋巴球 アル。

第 21 表 淋巴球絶對數ノ動搖ト病勢トノ關係

百單位	健康者		健康男女	患者男女	病竈ノ大サ			病型		轉歸		
	男	女			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
5				1			1		1			1
10	1	2	3	4		2	2	2	2	1	3	
15	2	3	5	24	1	7	16	10	14	2	9	13
20	2	1	3	29	8	6	15	18	11	4	16	9
25		2	2	17	2	5	10	10	7	2	9	6
30	3	2	5	18	4	1	13	7	11	4	7	7
35	1		1	8	1	3	4	6	2	5	1	2
40	1	2	3	3	1	1	1	3		1	2	
45	1		1									
50		1	1	4	1			1	3	1	1	2
合計	11	13	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統計値	統											
	M=26.36 σ=10.68 V=40.5	M=25.00 σ=12.04 V=48.1	M=25.62 σ=11.49 V=44.8	M=25.92 σ=9.00 V=34.7	M=26.11 σ=8.72 V=33.3	M=21.80 σ=7.96 V=36.5	M=23.62 σ=10.02 V=42.4	M=24.04 σ=8.25 V=34.3	M=23.14 σ=9.59 V=41.0	M=27.75 σ=9.54 V=34.4	M=22.46 σ=7.01 V=31.2	M=22.75 σ=9.15 V=40.2

第十三節 淋巴球百分率ト病型

ニ就テ

淋巴球百分率ニ關スル諸家ノ値ハ第22表ニ掲グルガ如クデアル。余ノ36.9ナル正常平均値ハ遙カニ之ヨリ大デアルガ、之ニハ余等ノ研究所近傍ニ存シ、健康ト目サル、従業員其他ノ特殊ノ狀況ナラント推測セラレ。個々ノ場合ニ於ケル更ニ廣汎ナル變化範圍ハ實驗誤差ニ基ヅクモノデアル。

併シナガラズノ如キ條件ニ於テ肺結核症ヲ通ジテ現ハル、現象ハ患者ニ於テ屢々淋巴球百分率ノ減少ノ存スルコト、更ニ病型ニ關シテハ此傾向ガ、病竈擴大シ、滲出型、進行性ノモノトナル程強クナルコトデアル。12%以下ヲ算スルモノハ豫後絶對ニ不良デアツタガ、斯クノ如キモノハ全例108中6例、從ツテ病型ノ判定、豫後ノト知ニハ之亦意義ノ甚ダ薄キコトガ知ラレル。

第 22 表

検査者	
Steffen ⁽¹⁴⁾	25—30
Weil ⁽²³⁾	20—25
Blumenfeld ⁽¹⁵⁾	20—28
Lampe u. Saupe ⁽¹⁷⁾	35—38.1
Schnorrenberg ⁽¹⁸⁾	25—30
Gloël ⁽¹⁹⁾	18—33
Eicke ⁽²⁰⁾	25—30
Schilling ⁽²⁾	21—35(小)
	4—8(大)
Gutzeit ⁽²¹⁾	25—30
Naegeli ⁽¹¹⁾	20—25
吉 橋 ⁽⁵⁾	24.6—24.5
大關、栗谷川 ⁽⁶⁾	31.1 30.4 (35.5—24.0) (35—23)

之ニ據ツテ觀ル時ハ淋巴球百分率ノ低下ハ主トシテ中性多核白血球ノ増加ニ基ヅクモノデ比較的淋巴球寡少デアルガ、好轉者ハ然ラザルモノヨリ稍々淋巴球絶對數ノ増加ヲ認ムルノ傾向ニ

アルコトガ言ハレル。停止若シクハ増悪者ガ減少スルノカ、好轉ノ際ニ正常以上ニ増加スルノカ好轉者ト健康對照例トヲ比較スレバ之ヲ明カニスルコトガ出來ル。即チ病勢ノ好轉セザルモノニ於テ減少スルノデアル。Schwermann⁽³⁾, Arneth u. Bergels⁽¹⁰⁾, Naegeli⁽¹¹⁾ 等何レモ結核ノ潜伏期又ハ初期ニ於テ淋巴球百分率ノ増加ヲ認メ、重症トナルニ從ヒソノ減少ヲ唱ヘタ。

初期ノ者ニ關シテハ余等ノ收容患者ノ性質ニ從ヒ贊否ヲ唱ヘルコトハ出來ナイ。重症トナルニ從ツテ淋巴球ノ百分率ノ減少スルコトハ余モ亦之ヲ認メ得ル。而シテ此場合獨リソノ百分率ノミナラズ淋巴球絶對數モ亦同時ニ減少ヲ呈スルノデアル。此點 Blumenfeld⁽¹⁵⁾ ガ凡テノ場合ニ淋巴球ノ絶對増加ガ存スルガ比較的ニ之ヲ認メズト唱ヘシ說ハ全然受ケ入レ難イ。

第 23 表 淋巴球百分率ノ動搖ト病勢トノ關係

%	健康 男女	患者 男女	病 竈 ノ 大 サ			病 型		轉 歸		
			I	II	III	増 殖	滲 出	好 轉	停 止	進 行
5		1			1		1			1
10		5			5		5			5
15		11	2	2	7	3	8		3	8
20	2	23	1	6	16	10	13	2	11	10
25	4	15	3	4	9	12	4	2	11	3
30	4	24	4	7	12	14	9	3	13	7
35	1	10	2	2	6	4	6	4	2	4
40	4	9	1	2	6	5	4	5	2	2
45	6	6	2	2	2	5	1	2	4	
50	2	2	1		1	2			2	
55		2	2			2		2		
60	1									
合 計	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統 計 値	M=36.9 σ=11.90 V=32.2 M=36.9 σ=11.63 V=33.41	M=27.4 σ=10.67 V=38.8 M=27.4 σ=10.430 V=32.00	M=33.6 σ=2.85 V=8.5 M=33.6 σ=2.85 V=8.5	M=28.0 σ=8.37 V=29.8 M=28.0 σ=8.37 V=29.8	M=25.4 σ=4.36 V=17.0 M=25.4 σ=4.36 V=17.0	M=30.5 σ=4.47 V=14.6 M=30.5 σ=4.47 V=14.6	M=23.9 σ=4.24 V=17.7 M=23.9 σ=4.24 V=17.7	M=36.0 σ=9.56 V=26.5 M=36.0 σ=9.56 V=26.5	M=28.4 σ=8.96 V=31.5 M=28.4 σ=8.96 V=31.5	M=22.0 σ=9.00 V=40.9 M=22.0 σ=9.00 V=40.9

第十四節 核分葉數ト病型ニ就テ

核分葉數ノ算出ハ杉山教授考案⁽³²⁾ニナル二項式配列ニヨル検査表ニ記入シテ之ヲ行ツタ。各人ニ就テソノ平均核分葉數ヲ以テ度數分布表ヲ作製シ、之ヲ考察スルニ次ノ如キ結果ヲ得ル。平均核分葉數ハ男女ニ於テ差異ヲ認メ難イ。依ツテ男女之ヲ綜合シテ患者ノ夫ト比較スルニ患者ニ於テ明カナル平均核分葉數ノ低下、即チ所謂核ノ左方移動ヲ認メル。

更ニ病型ニ就テ關係ヲ求ムルニ「ツルバン」ノ期ヲ追ヒ、病竈ノ擴大スルニ從ヒ、又滲出型ニシテ進行スルニ從ヒ左方核移動傾向ガ強ク現ハレル。

平均核分葉數 1.6 以下ノモノニ於テハ常ニ早晚死ノ轉歸ヲトツタガ、夫以上ノ核分葉數デハ之ノミヲ以テ病型ヲ云々シ、豫後ヲト知スルコトハ困難デアル。

第 24 表 核分葉數ノ動搖ト病勢トノ關係

核分葉數	健康者		健康男女	患者男女	病竈ノ大サ			病型		轉歸		
	男	女			I	II	III	増殖	滲出	好轉	停止	進行
1.5				3			3		3			3
1.8				23	1	4	18	8	15	1	11	11
2.1				40	6	8	26	18	22	5	16	19
2.4	2	4	6	19	5	4	10	13	6	6	8	5
2.7	6	6	12	16	2	7	7	11	5	6	8	2
3.0	2	2	4	7	4	2	1	7		2	5	
3.3	1	1	2									
合計	11	13	24	108	18	25	65	57	51	20	48	40
統計値	M = 2.73 σ = 0.189 V = 6.6	M = 2.70 σ = 0.265 V = 9.8	M = 2.72 σ = 0.258 V = 9.4	M = 2.23 σ = 0.370 V = 16.5	M = 2.43 σ = 0.73 V = 15.3	M = 2.34 σ = 0.370 V = 15.8	M = 2.11 σ = 0.318 V = 15.0	M = 2.35 σ = 0.372 V = 15.8	M = 2.07 σ = 0.300 V = 14.5	M = 2.44 σ = 0.319 V = 13.0	M = 2.27 σ = 0.387 V = 17.0	M = 2.04 σ = 0.278 V = 13.6

綜合的考察及結論

以上諸成績ヲ綜合スルニ當ツテ、先ヅ最モ必要ナ點ハ之ニ依ツテ病竈ノ大小ヲ知ルノデモナケレバ、又滲出ト増殖ト兩型ヲ分類セントスルモノデモナイ。實ニ疾病ノ豫後、病勢ノ豫後如何ニ關スルモノデナケレバナラナイ。

此點ニ於テ以上血液像各所見中比較的最モ臨牀上價值ヲ有スルモノヲ擧グレバ、赤血球數及ビ血色素含量ノ低下、白血球、殊ニ中性多核白血球數ノ増加、同ジク中性多核白血球百分率ノ増加乃至淋巴球百分率ノ減少、核分葉數ノ左方移動等ガソノ主ナモノデアラウ。例ヘバ白血球數ノ15000以上ノモノ、或ハ淋巴球百分率ノ12%以下ノモノ夫々豫後頗ル不良ナルヲ想定シ得ルガ如キデアル。併シナガラスクノ如クソノ成績ヲ病床ニ直接利用シ得ル頻度カラ云ヘバ108例中僅ニ數例、數%ニ過ギナイノデアツテ、此點上記検査法ニ依ル血液像ノ如何ニ直接寄與スルコトノ點キカラ感ゼシメラル、ノデアル。尤モ如上ノ如キ實驗誤差ノ大イナルモノヲ伴フ検査方法ニ就テハ今後ニ於テ夫々改良スベキ餘地ヲ有シ、極力誤差範圍ヲ縮小スルコトガ殘サ

レテ居ルノデアルガ、患者側ニ於テモ相對的ニ誤差ヲ小ナラシムルヲ以テ、ソノ臨牀的利用範圍ヲ或ハ今少シ擧上シ得ルコトガアツテモ、幾倍ナラシメ得ルカハ目下疑問デアルト思ハレル。

但シ血液像ノ此種ノ研究ハ之ヲ以テソノ意義ヲ盡サレタモノデハナイ。多少ナリトモ明カニ正常トノ間ニ認メラレタル差異ハ一般ニ肺結核疾患ニ就テノ發展進行、又ハ恢復ノ血液像ニ及ボス影響ヲ判然ト物語ルモノデアル。逐一ノ所見ヲ更ニ再ビ繰返シ述ブルコトヲ止メタイガ、凡ソ次ノヤウナコト可言ハレルカト思ハレル。

1. 肺結核ニ於テ僅少ノ場合ニ赤血球數ノ増加、減少ヲ認ムルコトガアル。前者ハ恐ラク或場合ニ血液ノ濃縮ガ行ハレルコトヲ物語リ、後者ハ貧血ニ依ルモノデアラウ。赤血球數ノ減少ト共ニ勿論血色素量モ減少スルガ、血球各個ニ對シテ特殊意義ヲ有スル血色素係數ノ低下ヲモ認メルカラデアル。

1. 肺結核ニ於テ左方移動性核ヲ有スル中性嗜好白血球ノ増加ハ慢性疾患タルノ自然ノ趨勢ト

第 27 表 男子患者成績

10/XI	139	♂	25	395	71	0.84	5.5	49.0	0	0.5	43.5	7.0 (385)	2.39	16.343.929.6	9.2	1.0	0	2.35±0.060	0.894±0.073
13/XI	143	„	26	404	69	1.03	6.2	64.5	1.0 (62)	4.0 (248)	27.5	3.0 (186)	1.70	6.925.645.020.9	1.6	0	0	2.85±0.051	0.881±0.036
4/XII	162	„	28	430	65	0.94	4.6	58.0	0	10.0 (460)	21.5	10.5 (483)	0.99	8.637.142.310.3	1.7	0	0	2.60±0.063	0.851±0.037
27/XI	155	„	30	471	72	0.94	6.9	51.0	0.5 (34)	0	47.0	1.5 (104)	3.24	1.018.750.027.4	2.9	0	0	3.13±0.051	0.775±0.036
13/XII	170	„	36	482	70	0.69	3.8	30.5	0	4.0 (152)	58.5	7.0 (266)	2.22	1.623.039.329.5	6.6	0	0	3.16±0.077	0.909±0.055
6/XI	135	„	40	498	83	1.03	8.8	46.0	0.5 (44)	4.0 (352)	45.0	4.5 (395)	3.96	6.540.235.916.3	1.1	0	0	2.65±0.057	0.826±0.041
4/XII	161	„	47	454	71	0.94	10.2	47.0	0.5 (51)	1.0 (102)	47.0	4.5 (458)	4.78	11.741.531.510.6	1.1	0	0	2.48±0.060	0.872±0.043
8/XII	166	„	50	429	72	1.03	6.6	56.5	0	14.0 (920)	25.0	4.5 (297)	1.64	10.644.339.8	5.3	0	0	2.40±0.046	0.747±0.032
6/XII	164	„	50	420	69	0.99	5.9	68.0	1.5 (88)	0.5 (29)	25.5	4.5 (265)	1.51	8.130.243.415.4	2.9	0	0	2.72±0.052	0.906±0.036
6/XII	163	„	57	452	78	1.03	4.0	66.0	1.0 (40)	0	30.5	2.5 (100)	1.22	3.034.147.414.4	0.8	0	0	2.76±0.043	0.753±0.036

検査月日	検査番号	検査性	年	赤血球単位数	血色素指數	白血球百分率	白血球百分率				嗜中性白血球百分率				葉核分數				臨牀所見					
							「エ」 腫細胞	肥細	嗜中性	白血球數	千單	巴	球	單	絕對數	I型 %	II型 %	III型 %	IV型 %	V型VI型 %	平均核數	標準偏差	標準偏差率	領域
14/Ⅳ	55	♂	14	484	83	0.99	9.64	1.5	0	2.5 (240)	53.5	2.5 (240)	5.13	2.431.347.0	18.1	1.2	0	2.84±0.059	0.784±0.041	右肺門部	増	好	—	—
26/Ⅶ	35	♂	15	472	78	0.99	5.239.0	1.0	1.0 (52)	4.0 (208)	53.0	3.0 (156)	2.75	7.716.742.3	28.2	5.1	0	3.06±0.074	0.978±0.052	右肺門部	増	好	—	—
22/Ⅸ	95	♂	15	437	68	0.94	7.450.5	0.5	0.5 (37)	2.5 (185)	37.5	9.0 (666)	2.77	27.745.5	21.8	4.0	1.0	2.05±0.057	0.860±0.040	右肺門部	増	好	—	—
26/Ⅶ	36	♂	17	471	68	0.84	9.258.0	1.0	1.0 (92)	2.0 (184)	33.5	5.5 (505)	3.08	28.550.5	17.2	4.3	0	1.97±0.049	0.783±0.035	右下葉 左上葉	滲	停	+	+
22/Ⅺ	151	♂	17	462	70	0.89	7.356.5	0	0	8.0 (584)	30.5	5.0 (365)	2.22	25.653.1	16.8	4.5	0	2.00±0.049	0.776±0.034	右肺門部	増	進	—	—
11/Ⅳ	53	♂	17	501	72	0.84	11.255.0	0	0	5.0 (560)	35.5	4.5 (504)	3.63	20.940.9	31.8	5.5	0	2.25±0.055	0.876±0.039	左上葉	増	好	—	—

6/IX	79	♂	17	315	44	0.84	10.2	80.5	0.5 (51)	0	16.0 (306)	1.63	25.5	42.9	23.6	7.4	0.6	0	2.15	±0.048	0.912	±0.034	左肺門部	増	進	—
4/Ⅳ	43	„	17	346	45	0.79	21.0	90.5	0 (0)	0	7.5 (420)	1.57	23.2	43.0	28.2	4.4	0.6	0	2.16	±0.042	0.816	±0.029	兩肺全葉	滲	進	+
28/Ⅳ	70	„	18	495	79	0.94	12.0	79.0	1.0 (120)	1.5 (181)	13.0 (660)	1.56	22.8	44.9	26.6	4.4	1.3	0	2.16	±0.046	0.870	±0.033	右全葉 左上葉	滲	進	+
9/Ⅳ	50	„	18	558	77	0.84	12.4	51.5	1.5 (186)	5.0 (620)	38.5 (660)	4.76	7.8	41.7	36.9	12.6	1.0	0	2.57	±0.055	0.843	±0.035	左全葉 右上葉	滲	進	+
28/Ⅳ	69	„	18	491	76	0.89	12.0	65.0	0 (0)	3.5 (420)	26.0 (660)	3.12	26.2	43.8	28.5	1.5	0	0	2.05	±0.045	0.761	±0.031	兩肺全葉	滲	進	+
3/XI	134	„	18	457	75	0.99	8.2	52.5	0 (0)	3.0 (246)	41.5 (660)	3.40	6.7	36.2	29.0	17.5	1.0	0	2.63	±0.054	0.834	±0.038	右全葉	増	好	—
22/XI	152	„	18	493	76	0.89	14.4	62.0	0 (0)	2.5 (360)	28.5 (660)	4.10	29.0	52.4	17.8	0.8	0	0	1.90	±0.042	0.700	±0.029	左全葉 右上葉	増	停	+
22/X	122	„	19	384	62	0.99	11.8	77.0	0 (0)	1.5 (177)	17.0 (660)	2.00	40.9	46.1	12.3	0.7	0	0	1.73	±0.037	0.695	±0.026	左全葉 右上葉	滲	進	+
11/Ⅳ	54	„	19	511	79	0.94	9.4	76.5	0 (0)	0.5 (47)	22.5 (660)	2.11	2.6	44.7	37.5	14.5	0.7	0	2.60	±0.042	0.779	±0.030	兩肺上葉	増	停	+
25/Ⅳ	67	„	19	386	57	0.89	23.0	91.0	0 (0)	0 (0)	6.0 (690)	1.38	49.0	35.7	14.3	1.0	0	0	1.67	±0.037	0.750	±0.026	兩肺全葉	滲	進	+
17/IX	89	„	19	410	85	1.24	8.2	63.5	0 (0)	4.0 (328)	25.0 (615)	2.05	18.1	53.6	22.0	6.3	0	0	2.21	±0.046	0.780	±0.037	右肺上葉 左肺門部	増	停	+
28/VI	12	„	20	477	55	0.69	8.8	77.5	0.5 (44)	0.5 (44)	19.5 (660)	1.72	43.2	37.4	16.8	2.6	0	0	1.79	±0.043	0.809	±0.031	左肺全葉	滲	進	+
3/XI	133	„	20	306	41	0.79	12.4	83.0	0 (0)	0 (0)	9.5 (660)	2.41	18.1	61.1	41.8	1.2	0	0	2.18	±0.034	0.065	±0.024	兩肺全葉	滲	進	+
22/XI	142	„	20	446	57	0.74	11.0	46.5	1.5 (165)	16.0 (1760)	27.5 (660)	3.03	30.1	47.3	20.4	2.2	0	0	1.97	±0.035	0.622	±0.025	左肺全葉	滲	停	—
8/XI	137	„	20	451	67	0.89	10.0	77.0	1.0 (100)	0.5 (50)	13.0 (660)	1.30	11.7	55.2	26.0	7.1	0	0	2.20	±0.041	0.762	±0.029	左肺全葉 右肺下葉	滲	進	+
11/IX	84	„	20	464	85	1.08	7.4	73.0	0.5 (37)	2.0 (148)	18.0 (660)	1.26	26.7	49.3	21.2	2.8	0	0	1.66	±0.050	0.902	±0.035	左肺全葉	増	停	+
10/Ⅶ	21	„	20	472	83	1.03	8.5	67.5	0 (0)	2.5 (205)	26.0 (660)	2.13	29.4	44.1	22.1	4.4	0	0	2.02	±0.047	0.831	±0.033	右肺全葉 左肺上葉	滲	停	+
11/XI	83	„	20	430	72	0.99	6.2	64.5	0 (0)	0.5 (31)	30.5 (660)	1.89	8.5	41.1	34.9	15.5	0	0	2.57	±0.050	0.851	±0.035	左肺上葉	増	停	—
19/VI	1	„	21	462	63	0.79	14.0	72.7	0 (0)	2.3 (322)	18.1 (660)	2.53	10.5	22.5	31.3	25.6	9.4	0.6	3.03	±0.061	1.155	±0.043	右肺全葉 左肺上葉	増	停	+

14/VII	26	♂ 21	494	70	0.84	10.4	67.5	0.5 (52)	0	28.0 (416)	2.91	24.4	44.5	25.5	4.4	1.5	0	1.86 ± 0.051	0.889 ± 0.036	左肺全葉	滲	進	有	+
1/XI	132	22	521	63	0.74	9.4	65.0	2.0 (188)	2.0 (188)	22.5 (188)	2.11	27.7	51.5	20.0	0.8	0	0	1.94 ± 0.041	0.710 ± 0.029	左肺全葉	増	停		+
20/IX	93	22	326	64	1.18	10.0	75.5	0 (0)	2.0 (200)	19.5 (200)	1.95	38.4	53.0	7.9	0.7	0	0	1.71 ± 0.035	0.636 ± 0.024	右肺全葉	滲	停		+
16/VIII	57	22	514	83	0.94	5.2	49.5	0 (0)	2.0 (104)	46.0 (130)	2.39	22.2	46.5	29.3	2.0	0	0	2.11 ± 0.051	0.763 ± 0.036	左肺全葉	滲	停	有	+
3/VII	15	22	521	74	0.84	5.6	66.5	0.5 (128)	0	29.5 (0)	1.65	19.5	53.4	20.3	4.5	2.3	0	2.17 ± 0.050	0.863 ± 0.035	右肺上葉 及中葉	増	停		+
16/VIII	58	22	489	83	0.99	5.2	47.5	0 (0)	2.5 (130)	48.5 (130)	2.52	3.2	22.1	51.6	21.0	2.1	0	2.97 ± 0.055	0.801 ± 0.033	兩肺上葉	増	停		-
10/VIII	52	23	538	78	0.84	11.4	79.5	0 (0)	0	16.0 (0)	1.82	12.0	37.7	34.0	14.5	1.2	0.6	2.57 ± 0.0	0.962 ± 0.036	左肺全葉	滲	停		-
4/IX	77	23	346	66	1.13	9.8	70.0	1.0 (98)	2.5 (245)	21.5 (245)	2.11	35.0	38.6	20.0	6.4	0	0	1.98 ± 0.051	0.898 ± 0.036	右肺全葉	増	好		-
8/VIII	82	23	507	89	1.03	8.4	65.0	2.0 (168)	6.0 (504)	23.0 (504)	1.93	3.1	26.9	40.1	20.8	3.1	0	2.94 ± 0.050	0.850 ± 0.029	左肺上葉	増	停		+
13/IX	86	23	454	72	0.94	6.6	67.0	0.5 (33)	4.5 (297)	26.0 (297)	1.72	23.9	62.7	10.4	2.2	0.8	0	1.93 ± 0.043	0.704 ± 0.029	兩肺上葉	増	停	有	+
6/IX	80	23	510	86	0.99	9.2	74.5	0 (0)	0.5 (46)	21.5 (46)	1.98	30.2	51.7	17.5	0.6	0	0	1.89 ± 0.038	0.701 ± 0.027	左肺全葉	滲	進		+
10/VIII	51	24	488	85	1.03	7.8	59.5	0 (0)	8.5 (662)	29.5 (662)	2.30	22.7	47.9	19.3	9.3	0.8	0	2.09 ± 0.057	0.926 ± 0.040	兩肺上葉	滲	進		+
5/VII	18	24	463	76	0.99	7.2	61.5	1.5 (108)	2.5 (180)	32.0 (180)	2.30	52.0	34.1	9.8	3.3	0.8	0	1.67 ± 0.054	0.900 ± 0.038	左肺全葉 右肺上葉	増	停		+
25/VI	8	24	497	70	0.84	11.0	64.0	0.5 (55)	1.0 (110)	33.0 (110)	3.64	52.3	37.5	5.5	4.7	0	0	1.63 ± 0.047	0.790 ± 0.033	兩肺全葉	滲	進	有	+
12/VII	23	25	464	83	1.08	8.2	64.0	1.5 (123)	2.5 (205)	27.0 (205)	2.21	22.7	46.1	25.0	3.1	2.3	0.8	2.41 ± 0.052	0.881 ± 0.037	右肺上葉 左肺上葉	増	停		+
19/VI	2	26	605	78	0.79	4.6	63.6	0.9 (41)	2.7 (124)	30.9 (124)	1.42	19.3	28.6	31.4	15.0	5.7	0	2.59 ± 0.063	1.127 ± 0.045	兩肺全葉	増	好		-
8/XI	138	27	356	65	1.08	8.8	72.0	0 (0)	1.5 (132)	15.0 (132)	1.32	17.4	56.9	24.3	1.4	0	0	2.10 ± 0.038	0.681 ± 0.027	右肺全葉	滲	進		+
25/VIII	68	28	457	76	0.99	6.6	68.0	0.5 (33)	6.0 (396)	21.0 (396)	1.39	28.7	44.8	20.6	5.9	0	0	2.04 ± 0.049	0.853 ± 0.035	右肺上中葉	増	停		+
8/IX	81	28	490	98	1.08	12.6	62.5	0 (0)	2.5 (375)	31.0 (375)	4.00	9.6	38.4	40.8	10.4	0.8	0	2.54 ± 0.049	0.831 ± 0.035	右肺上葉 兩肺門葉	増	好		-

1/XI	131	529	75	0.84	11.469.5	0	1.5	21.5	7.5	2.4620.149.722.3	7.2	0.7	0	2.19±0.0490.861±0.035	兩肺全葉	滲	進	有	+
26/VI	9	29	386	81	1.2310.056.5	0	3.5	37.0	3.0	3.7025.044.335.4	5.3	0	0	2.31±0.0490.788±0.035	兩肺全葉	増	好		-
21/VI	4	30	456	63	0.84 7.073.5	1.0	0.5	20.0	5.0	1.4025.248.320.4	5.4	0.7	0	2.08±0.0470.853±0.035	兩肺全葉	滲	進	有	+
6/VIII	45	30	453	77	0.99 6.873.0	0.5	4.5	18.0	4.0	1.2331.545.219.127.5	1.4	0	0	1.97±0.0470.860±0.035	右肺全葉	滲	停	有	-
7/VIII	47	30	440	72	0.9911.676.0	0	2.0	18.0	4.0	2.0917.834.236.110.5	1.3	0	0	2.43±0.0500.926±0.035	兩肺全葉	滲	進		+
15/IX	87	31	481	71	0.89 9.271.0	0	1.0	23.5	4.5	2.1629.644.419.0	7.0	0	0	2.04±0.0490.875±0.035	兩肺上葉	増	停		+
6/VIII	46	32	414	64	0.89 6.669.0	1.5	6.5	20.0	3.0	1.32 4.331.938.422.5	2.2	0.7	0	2.88±0.0530.926±0.037	左肺全葉 右肺上葉	増	停		+
4/IX	78	32	366	50	0.7910.681.0	0.5	0	17.0	1.5	1.8124.743.826.6	3.7	1.2	0	2.13±0.0450.869±0.035	兩肺全葉	滲	進		+
14/VIII	56	32	473	70	0.89 8.458.0	0.5	2.5	36.5	2.5	3.0612.137.137.911.2	1.7	0	0	2.57±0.0550.883±0.038	兩肺全葉	滲	進	有	+
12/VII	24	33	508	66	0.7910.260.0	0	4.5	29.0	4.5	2.9620.840.026.710.0	2.5	0	0	2.33±0.0610.999±0.043	右全葉 左 上 葉	増	停	有	+
30/X	130	34	410	68	0.9910.882.0	0	1.5	13.5	3.0	1.4630.549.418.3	1.8	0	0	1.92±0.0390.744±0.027	兩肺全葉	滲	進	有	+
5/VII	17	34	550	71	0.79 8.055.0	0.5	3.5	37.5	3.5	3.0047.333.616.4	2.7	0	0	1.75±0.0530.825±0.037	兩肺全葉	滲	停	有	+
17/IX	90	34	460	73	0.9412.261.5	1.5	10.5	23.0	3.5	2.8037.448.010.6	4.0	0	0	1.81±0.0470.779±0.033	右肺全葉 左肺上葉	滲	進		+
13/IX	85	35	453	80	1.03 9.463.0	0	3.5	28.0	5.0	2.6228.641.320.6	9.5	0	0	2.11±0.0550.928±0.039	左肺全葉 右肺上葉	増	停		+
7/VII	19	35	531	70	0.79 5.067.0	0.5	2.0	28.0	2.5	1.4046.338.811.9	3.0	0	0	1.72±0.0450.788±0.032	右肺上中葉	増	停		+
26/VI	10	35	528	85	0.94 5.249.0	0.5	0.5	39.0	2.0	2.0216.344.927.611.2	0	0	0	2.34±0.0590.880±0.042	左肺全葉	増	好		-
5/VIII	44	36	359	62	1.03 7.487.0	0	0	8.5	4.5	0.7418.449.524.1	6.9	0.6	0.5	2.24±0.0450.888±0.032	兩肺全葉	滲	進	有	+
9/VIII	49	37	465	83	1.08 7.480.0	0	1.5	16.0	2.5	1.18 5.631.345.615.0	2.5	0	0	2.75±0.0450.851±0.031	兩肺上葉	増	停		+
12/XI	141	38	235	30	0.7912.065.5	0	2.5	23.0	9.0	2.7631.342.722.9	2.3	0.8	0	1.99±0.0490.838±0.035	左肺全葉	増	進	有	-

21/IX	94	39	386	57	0.89	9.473.5	0	0	21.5	5.0	2.02	19.043.5	27.9	8.9	0.7	0	2.29±0.049	0.896±0.035	左肺全葉	増	停	有	-
21/VI	3	39	322	44	0.84	7.863.5	1.0	3.5	27.5	4.5	2.14	8.737.0	34.6	18.1	1.6	0	2.67±0.055	0.928±0.039	右肺上中葉 左肺上葉	増	停		-
28/VII	37	40	545	81	0.89	11.074.5	1.5	1.5	20.5	2.0	2.26	8.726.8	37.6	22.8	3.4	0.7	2.87±0.056	1.013±0.039	兩肺上葉	増	停		+
28/VII	38	40	427	63	0.89	8.265.0	0	0.5	30.0	4.5	2.45	35.442.3	16.9	4.6	0.8	0	1.93±0.041	0.879±0.032	左肺下葉	増	停		-
7/VIII	48	41	461	76	0.99	8.056.5	0	11.5	25.5	6.5	2.04	10.647.8	32.7	8.9	0	0	2.40±0.050	0.794±0.035	右肺全葉 及左肺上葉	増	停		+
19/VII	30	43	514	66	0.79	8.058.5	0.5	0	37.0	4.5	2.96	17.241.4	27.6	9.5	4.3	0	2.42±0.063	1.018±0.045	兩肺全葉	増	進	有	+
14/VII	25	44	514	83	0.99	8.844.5	1.5	3.0	45.0	6.0	3.95	19.134.8	31.5	10.1	4.5	0	2.46±0.074	1.049±0.052	左肺全葉	増	停		+
10/VII	22	45	373	59	0.94	10.469.0	0.5	1.0	27.5	2.0	2.87	26.152.9	16.9	2.9	1.4	0	2.01±0.053	0.821±0.034	左肺全葉 右肺上葉	増	停		+
23/VIII	65	45	437	71	0.99	14.859.0	1.0	2.0	34.5	3.5	5.06	28.046.6	19.5	5.9	0	0	2.03±0.059	0.843±0.039	兩肺全葉	増	進	有	+
15/IX	88	46	448	87	1.13	7.052.0	1.0	23.5	18.0	5.5	1.26	25.045.2	20.2	9.6	0	0	2.14±0.059	0.903±0.042	左肺全葉	増	停		+
23/VIII	66	48	443	54	0.74	13.475.0	0.5	0.5	21.5	2.5	2.87	42.043.3	12.7	2.0	0	0	1.75±0.047	0.750±0.029	兩肺全葉	増	進	有	+
7/VII	20	49	488	67	0.84	7.464.0	0	0	32.0	4.0	2.37	50.836.7	9.7	2.3	0.8	0	1.66±0.048	0.808±0.033	兩肺全葉	増	進	有	+
28/VI	11	52	515	81	0.94	7.460.0	1.0	0.5	37.5	1.0	2.78	19.237.5	29.2	14.1	0	0	2.38±0.058	0.950±0.041	右肺全葉	増	好	有	-
3/VII	16	69	474	66	0.84	4.867.0	1.0	3.0	25.0	4.0	1.20	35.144.8	15.6	4.5	0	0	1.90±0.047	0.823±0.033	右肺上葉 兩肺門部	増	停		-

表中ノ増ハ増殖型、滲ハ滲出型、好ハ好轉、停ハ停止、進ハ進行ヲ各々略記セルモノナリ。檢度(+)(-)ハ結核菌ノ有(+)、無(-)ヲ略記セリ。

第 28 表 女 子 患 者 成 績

検査 月 日	検査 番 号	性 別	年 齢	赤血球 単位	血 色 素 指數	白血球 數位	白血球百分率				淋 巴 球 單 位	嗜 中 性 白 血 球 核 分 葉 數						臨 牀 所 見					
							「エ」 嗜 中 性 肥 細 胞	淋 巴 球	大 核	單 球		I 型 %	II 型 %	III 型 %	IV 型 %	V 型 %	VI 型 %	平均核數	標準偏差	確率誤差	領域	病 型	病 勢
18/IX	92	♀	12	390	62	0.94	16.284.5 (0)	0	0	9.5 (0)	6.0 (972)	1.5442.042.013.0	3.0	0	0	0	0	1.77±0.040	0.784±0.029	兩肺全葉	滲出	進行	+
30/VI	13	♀	14	373	47	0.99	18.475.0 (92)	0.5	2.5 (461)	27.5	3.5 (645)	5.0152.036.8	9.9	0.7	0	0	0	1.47±0.037	0.687±0.026	兩肺全葉	滲	進	+
31/VII	40	♀	15	535	75	0.84	9.861.0 (98)	1.0	2.0 (96)	30.0	6.0 (587)	2.9318.939.330.3	9.0	2.5	0	0	0	2.37±0.056	0.930±0.039	左下葉	滲	停	+
2/III	41	♀	16	457	74	0.99	11.675.5 (0)	0	0	20.0	4.5 (499)	2.3217.239.126.6	15.8	1.3	0	0	0	2.45±0.054	0.994±0.038	右中葉	増	停	-
1/IX	73	♀	16	326	41	0.74	6.075.5 (0)	0	1.0 (60)	22.0	1.5 (90)	1.3239.841.713.9	3.3	1.3	0	0	0	1.95±0.047	0.875±0.033	右全葉	滲	進	+
25/VI	7	♀	16	443	56	0.74	6.067.5 (0)	0	1.0 (60)	40.0	1.5 (90)	2.4046.741.5	9.6	2.2	0	0	0	1.67±0.042	0.739±0.030	右全葉及 左肺門部	滲	進	+
18/III	60	♀	16	471	60	0.79	1.338.0 (0)	0	0	27.5 (58)	4.5 (58)	3.5733.137.522.0	5.9	1.5	0	0	0	2.05±0.055	0.957±0.039	右全葉	増	停	+
22/X	121	♀	16	448	82	1.08	7.861.0 (0)	0	3.0 (234)	34.0	2.0 (156)	2.65	4.942.641.0	11.5	0	0	0	2.51±0.049	0.813±0.035	右肺門	増	停	-
18/IX	91	♀	17	397	69	1.03	8.262.5 (41)	0.5	3.5 (287)	26.5	7.0 (574)	2.1720.848.824.0	4.8	1.6	0	0	0	2.16±0.050	0.771±0.032	右下葉	増	好	-
18/III	59	♀	17	477	57	0.74	10.677.0 (106)	1.0	1.0 (106)	19.5	1.5 (159)	2.0626.741.524.0	6.5	1.3	0	0	0	2.14±0.050	0.939±0.035	左全葉 右上中葉	滲	進	+
30/III	72	♀	19	423	72	1.03	10.460.0 (0)	0	2.5 (260)	32.0	5.5 (572)	3.3311.737.535.8	13.3	1.7	0	0	0	2.56±0.056	0.920±0.039	左上葉	滲	進	+
3/IX	76	♀	20	427	65	0.94	20.285.0 (0)	0	0.5 (101)	8.5	6.0 (1212)	1.7254.138.2	5.9	1.8	0	0	0	1.54±0.035	0.679±0.025	兩肺全葉	滲	進	+
31/VII	39	♀	21	505	74	0.89	4.848.0 (48)	1.0	1.0 (48)	46.5	3.5 (168)	2.22	7.321.929.1	34.4	7.3	0	0	3.13±0.072	1.063±0.051	右上葉及 兩肺門部	増	好	-
21/VII	32	♀	22	457	60	0.79	7.278.0 (0)	0	2.5 (180)	18.0	4.0 (288)	1.3027.845.716.6	7.9	1.3	0.7	0	0	2.11±0.053	0.987±0.034	右全葉	増	好	-
2/VII	31	♀	22	460	70	0.94	4.063.5 (0)	0	3.5 (140)	27.5	5.5 (220)	1.1010.225.242.0	22.8	0.8	0	0	0	2.79±0.055	0.935±0.039	右上葉	増	好	-
21/III	64	♀	23	457	72	0.94	4.045.0 (0)	0	5.5 (220)	47.5	2.0 (80)	1.90	7.828.950.0	13.3	0	0	0	2.69±0.056	0.798±0.035	左全葉	増	停	-

19/VII	29	♀ 24	339	63	1.08	4.246.5	1.0 (42)	5.0 (210)	45.0	2.5 (105)	1.89	7.526.933.321.5	7.5	3.2	2.03±0.061	1.043±0.043	兩肺上葉	増	停	+
21/VIII	63	♀ 24	323	54	0.99	7.661.5	0 (0)	1.0 (76)	30.0	7.5 (570)	2.2815.548.827.6	6.5	1.6	0	2.30±0.055	0.864±0.037	兩肺全葉	増	進	+
2/VIII	42	♀ 24	481	72	0.89	7.460.5	0.5 (37)	11.0 (815)	22.0	6.0 (444)	1.6318.228.931.419.8	1.7	0	0	2.58±0.064	1.055±0.045	左肺全葉	増	停	+
30/VI	14	♀ 25	518	63	0.74	10.460.5	0.5 (52)	4.5 (468)	34.0	0.5 (52)	3.5445.541.38.34.9	0	0	0	1.73±0.047	0.775±0.033	右肺下葉	増	好	-
1/IX	74	♀ 25	495	67	0.79	5.660.0	0 (0)	0 (0)	35.0	5.0 (280)	1.9612.548.329.210.0	0	0	0	2.37±0.043	0.826±0.035	右全葉 左全葉	増	停	+
20/VIII	62	♀ 26	403	67	0.99	5.048.5	0 (0)	3.0 (150)	47.0	1.5 (750)	2.3511.444.337.16.2	1.0	0	0	2.41±0.055	0.810±0.039	右全葉	増	好	-
20/VIII	61	♀ 26	467	64	0.84	9.076.0	0 (0)	3.5 (315)	18.5	2.0 (180)	1.6723.844.128.93.2	0	0	0	2.12±0.043	0.802±0.031	兩肺全葉	増	進	+
17/VII	28	♀ 27	498	63	0.74	5.457.5	0.5 (27)	0.5 (27)	39.5	3.0 (162)	2.1329.241.617.78.8	2.7	0	0	2.14±0.064	1.020±0.045	左肺全葉	増	進	+
17/VII	27	♀ 27	492	66	0.79	10.073.5	0.5 (50)	0.5 (50)	24.0	2.5 (250)	2.4015.235.232.412.4	4.1	0.7	0	2.57±0.059	1.062±0.041	左肺上葉 右肺門部	増	好	+
23/VI	6	♀ 27	410	67	0.99	8.868.5	0 (0)	1.5 (132)	28.0	2.0 (176)	2.4619.053.324.82.9	0	0	0	2.12±0.042	0.740±0.030	左肺全葉	増	停	+
23/VI	5	♀ 27	403	64	0.99	6.647.5	0 (0)	3.5 (231)	44.5	4.5 (297)	2.9335.834.724.24.2	1.1	0	0	2.00±0.063	0.929±0.045	兩肺全葉	増	停	+
3/IX	75	♀ 28	461	58	0.74	12.683.5	0 (0)	0.5 (63)	14.0	2.0 (252)	1.7637.151.59.61.8	0	0	0	1.76±0.036	0.694±0.023	右全葉	増	停	-
30/VIII	71	♀ 31	488	67	0.84	8.860.0	0 (0)	0 (0)	39.5	0.5 (44)	3.475.038.445.810.8	0	0	0	2.63±0.045	0.742±0.032	左全葉	増	好	-
22/IX	96	♀ 32	396	56	0.84	12.079.0	0 (0)	1.0 (120)	16.0	4.0 (480)	1.9231.644.920.33.2	0	0	0	1.95±0.043	0.804±0.030	左全葉 右肺門部	増	進	+
30/X	129	♀ 43	434	75	1.03	7.074.0	0 (0)	1.5 (105)	19.0	5.5 (385)	1.3320.949.328.43.4	0	0	0	2.12±0.039	0.725±0.028	左全葉 右全葉	増	停	+

見ラレ、此場合ニ於ケル白血球ノ異常増加ハ漸ク患者ノ不良ナル豫後ヲ示スモノデアル。尙白血球ノ異常増加ハ病變ノ滲出型ナルモノニ於テ斷然認メラレル。

1. 淋巴系細胞ハ肺結核ニ於テソノ絶對數ヨリ見ル時甚ダシク著明ニ疾病機轉ニ關與スル事寡キモノ、如クデアル。但シ病勢ノ一向ニ好轉ヲ示サルモノニ於テ細胞數ガ稍々減少シ居レルコトハ明白デアル。

1. 「エオジン」嗜好性白血球ニ關シテハ「ツルバン」期ノ進ミタル肺結核ノ極少數例ニ於テ異常ナル増加ヲ認メシノミデ、ソノ更ニ確然タル意義ハ之ヲ發見スルヲ得ナカツタ。

1. 鹽基嗜好性白血球ノ肺結核ニ於ケル關與ニ

就テハ、ソノ數ニ於テ對照健康者間ニ分明ナル差異ヲ見出シ得ナイ。即チ直接關與スルコト殆ンドナキコトヲ認メル。

1. 大單核細胞ハ一般ニ云ヘバ肺結核患者ニ於テ非常ニ著シクソノ絶對數ノ差異ヲ示シ得ナイ。却ツテ百分率デハ一般ニ減少ノ傾向ヲサヘ呈シテ居ル。併シ病型間ニハ各々特徴ヲ示シ、増殖型ヨリモ滲出型ニ而モ豫後不良ノモノ程ソノ絶對數ガ増シテ居ル。

擱筆スルニ臨ミテ終始御懇篤ナル御指導竝ニ御校閲ノ勞ヲ賜ハリシ所長日置博士ニ對シ謹ミテ謝意ヲ表ス。併セテ上坂學兄ノ臨牀的御助言ニ對シ深謝ス。

主要文獻

1) Oppenheimer, Deutsch. med. Wochenschr., 1889, 44, 859-904. 2) Schilling, Das Blutbild u. seine klin. Verwertung, 1929. 3) Schwermann, Ztsch. f. Tbk., 1914, 22, 20-417. 4) 田中, 東京醫事新誌. 昭和二年. 51, 1475. 5) 吉橋, 千葉醫學會雜誌. 大正十五年. 4, 984. 6) 大關, 栗谷川, 東北醫學雜誌. 1933, 15, 607. 7) 横井, 結核. 1924, 3, 215. 8) Bandelier-Roepke, Die Klinik d. Tuberkulose, 1920, S. 699. 9) Appelbaum, Berl. klin. Wochenschr., 1902, 1, 7. 10) Grawitz, Deutsch. med. Wochenschr., 1893, 51, 1893. 11) Naegeli, Blutkrankheiten u. Blutdiagnostik, 1931. 12) 永井, 日新醫學. 1921, 11, 799-957. 13) Löwi, Wien. klin. Wochenschr., 1931, 45, 1404. 14) Steffen, Deutsch. Arch. f. klin. Med., 1910, 98, 355. 15) Blumenfeld, Zeitschr. f. exper. Path u. Therapie, 1919, 20, 14. 16) Arneth, Münch. med. Wochenschr., 1904, 27, 1195. 17) Lampe u. Saupe, Münch.

med. Wochenschr., 1920, 51, 1468. 18) Schnorrenberg, Beitr. z. Klin. d. Tbk., 1922, 53, 284. 19) Gloel, Beitr. z. Klin. d. Tbk., 1920, 45, 404. 20) Eicke, Beitr. z. Klin. d. Tbk., 1923, 56, 95. 21) Gutzeit, Wien. med. Wochenschr., 1931, 39, 1270. 22) Limbeck, Zeitschr. f. Heilk., 1890, Bd. 10. 23) Weichsel, Münch. med. Wochenschr., 1921, 30, 938. 24) Dicastello, Wien. med. Wochenschr., 1919, 14, 669. 25) Torday, Virchow's Archiv, Nr. 213, S. 529. 26) Hermann, Zeitschr. f. Tbk., 1931, 61, 305. 27) 草間, 日本內科學會雜誌. 大正五年. 4, 506. 28) 鈴木, 結核. 昭和二年. 5, 956. 29) Weil, Zeitschr. f. Tbk., 1918, 29, 193. 30) Krause, Klutische Diagnostik, 1913, S. 420. 31) Kuthy u. Wolf, Eisener, Die Prognosestellung bei der Lungentbk., 1914, S. 339. 32) 杉山, 十全會雜誌. 昭和八年. 38, 53.